

**鹿児島県高等学校体育連盟創立 50 周年記念**  
**第 69 回 鹿児島県高等学校新体操・体操競技大会**  
**(全国・九州大会予選) 要項**

- 1 主 催 鹿児島県高等学校体育連盟・鹿児島県教育委員会
- 2 後 援 公益財団法人鹿児島県体育協会
- 3 主 管 鹿児島県高等学校体育連盟体操専門部
- 4 期 日 平成 30 年 5 月 18 日 (金) ～20 日 (日)
- 5 会 場 鹿児島県総合体育センター体育館
- 6 競技種目 新体操 団体競技, 個人競技  
 体操競技 男子…ゆか, あん馬, つり輪, 跳馬, 平行棒, 鉄棒  
 女子…跳馬, 段違い平行棒, 平均台, ゆか
- 7 競技規定 体操競技・新体操ともに (公財) 日本体操協会競技規則 (全国高校適用) および最新版の日本体操協会採点規則 (全国高校適用) による
- 8 競技方法  
 (体操競技)

- 1 日目：チーム選手権および個人選手権・種目別選手権の予選を自由演技で行う。  
 (団体：3 チーム, 個人：団体出場者を除く 12 名, 種目別：各種目 8 位以内が決勝へ)
- 2 日目：チーム選手権および個人選手権・種目別選手権の決勝を自由演技で行う。

選手権別	方 法
チーム選手権	チーム得点は各種目の上位 3 名の得点を合計したものとする。 予選の結果により決勝の班編制を行う。 決勝の順位は, 予選演技と決勝演技のチーム得点の合計により決定する。
個人選手権	チーム選手権出場者も個人選手権を兼ねる。 各種目の個人得点の合計により順位を決定する。 予選の結果により決勝の班編制を行う。 決勝の順位は, 予選演技と決勝演技の個人得点の合計により決定する。
種目別選手権	決勝の各種目別の得点により順位を決定する。

※女子は 4-4-3 方式で競技。女子跳馬の演技数は, 予選 1 本, 決勝 2 本。

※女子「ゆか」の伴奏曲は CD・MD によるものとする。

※九州大会・全国大会出場者の選考で同点の場合には, 日本体操協会競技規則最新版のタイブレイクルールを準用し, 競技専門委員, 男女審判長, 男女競技部長による裁定審判委員会を開き, 出場者を決定する。

(新体操)

性別	選手権別	方 法
男 子	団体競技選手権	自由演技の得点により順位を決定する。 (2 分 45 秒～3 分)
	個人競技選手権	「クラブ」, 「スティック」の二種目を行い, 二種目の合計点により順位を決定する。個人については伴奏曲を使用する。 (1 分～1 分 30 秒)
女 子	団体競技選手権	自由演技のみとし, 手具は「フープ 5」とする。 得点により順位を決定する。 (2 分 15 秒～2 分 30 秒)
	個人競技選手権	「フープ」と「ボール」の二種目を行い, 二種目の合計点により順位を決定する。 (1 分 15 秒～1 分 30 秒)

## 9 引率・監督

- (1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

但し、(2) について全国高等学校体育連盟競技専門部における別途規程が定められている場合は、その規程に従うことを原則とする。

### 【参考】

引率が認められる職員	教頭 教諭 助教諭 養護教諭 養護助教諭 講師（常勤） 実習助手（以下の条件を全て満たし、校長が承認した者）
条件	1 正規職員であること 2 当該部活動の指導を常時行っていること 3 教員免許状の普通免許状を有していること、又は免許法認定講習等で生徒指導に関する単位を1単位以上取得し、かつ6年以上の勤務経験があること

## 10 参加資格

- (1) 平成30年度高体連加盟校の在学学生であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。
- (2) 年齢は平成11（1999）年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (3) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (4) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める（「合同チーム参加届け」を提出）
- (5) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）但し、一家転住等やむを得ない場合は県高体連会長の認可があればこの限りでない。（「大会出場申請書」を提出）
- (6) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (7) 体操競技に出場するものは、新体操に出場できない。その逆も同じである。
- (8) その他の事項については、全国大会要項に準じる。
- (9) 参加資格の特例による学校の参加については、鹿児島県高等学校総合体育大会開催基準要項のとおりとする。
- (10) 外国人留学生の参加については、団体は体操競技・新体操共に1名とし、個人は体操競技2名、新体操1名とする。

## 11 参加制限（体操競技）

- (1) チーム参加は男女とも1校から1チームとする。（補欠者は個人申し込みをすれば個人参加ができる）
- (2) チームの編成は最大限4名、最少限3名とする。
- (3) 1校からチーム出場の外に4名まで個人参加が認められる。
- (4) 選手の変更は補欠申し込みをした者に限る。（選手変更の届出は監督会議で申し出ること。以後の変更は認められない。）

### （新体操）

- (1) 団体競技の参加は、男女とも1校から1チームとする。ただし男女ともに、オープン参加として2チーム目の参加を認める。
- (2) チームの編成は、男女とも選手6名、補欠2名とする。
- (3) 個人競技選手権は、1校から4名まで出場できる。（個人競技選手権に出場した選手は団体競技のチームに加わることができる）

## 12 参加申込

参加申込に際しては、「鹿児島県高等学校総合体育大会・鹿児島県高等学校新人体育大会における個人情報保護及び肖像権に関わる取扱いについて」を承諾した上で申し込むものとする。

### (1) 申込方法

所定の申込書により2部作成（1部は写しでも可）、4月27日（金）午後4時30分までに

申し込むこと。(期日までに必着とし、届かなかったものは受け付けない。)

(2) 申込場所

〒891-0141 鹿児島市谷山中央八丁目4番1号  
 県立鹿児島南高等学校内 県高体連事務局宛 (Tel 099-268-8391)

(3) 参加申込書提出後に出場を辞退しなければならなくなった場合は、速やかに競技専門委員長に連絡し、大会出場辞退届を県高体連事務局に提出する。

13 競技日程

日		時	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
新体操	5月18日(金)		C3・C4 審判会議	C3・C4 監督会議	開会式	新体操個人	昼食 練習	新体操個人			新体操 団体 練習	体操競技 練習	
			新体操練習							体操競技会場設営			
体操競技	5月19日(土)		新体操練習		新体操 団体 表彰式	体操競技 予選1班 練習	体操競技 予選1班 競技	体操競技 予選2班 練習	体操競技 予選2班 競技		体操競技 練習		予選 通過 者 会議
体操競技	5月20日(日)		C3・C4 審判会議	体操競技練習		体操競技 決勝 競技	昼食	会場整理		閉会式	新体操, 体操競技 九州大会・全国大会 出場校代表者会 (体育館ステージ)		

C1 体操競技男子 C2 体操競技女子 C3 新体操男子 C4 新体操女子

連絡

- ・C1～C4の審判会議は8時30分から(2日目C1・C2は9時45分から)体育館ステージおよび研修室で行います。
- ・C3・C4の監督会議は9時00分、C1・C2は10時30分から体育館ステージで行います。(時間厳守)
- ・九州大会・全国大会出場校代表者会(新体操・体操競技)体育館ステージ5月20日(日)
- ・競技日程は、申込状況により若干変更することがある。その場合は、監督会議で連絡する。
- ・組み合わせ結果は、県高体連事務局ホームページに掲載する。

14 表彰

種別	表彰	チーム選手権	個人及び種目別選手権
体操競技 新体操		<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女とも1位に優勝旗及び賞状を授与する。</li> <li>・男女とも2～3位に賞状を授与する。</li> </ul>	男女とも各1～3位に賞状を授与する。

15 九州大会・全国大会出場資格

(1) 九州大会

	チーム出場	個人出場
体操競技 (男・女)	・男女とも優勝チーム	・男女とも優勝校を除き上位から5名とする。但し、同一校からの出場は3名までとする。
新体操 (男・女)	・男子は優勝チーム ・女子は上位2チーム	・男女とも上位2名

(2) 全国大会

	チーム出場	個人出場
体操競技 (男・女)	・男女とも優勝チーム	・男女とも優勝チーム（含補欠）出場者を除き上位 2名とする。
新体操 (男・女)	・男子は九州大会予選通過チーム ・女子は上位1チーム	・男女とも上位1名

16 競技服装について

全国高体連服装規定に準ずる。

(1) 体操競技（男女）

ア 競技者は、背に規定のゼッケン（タテ 15 cm ヨコ 20 cm）をつけなければならない。

イ チームにおいては、同一のユニフォームを着用し、胸章も統一したものをつけなければならない。

※上記に違反した場合は、採点規則に基づき決定点より減点される。

(2) 新体操（男女）

チームにおいては、同一のユニフォームを着用し、胸章も統一したものをつけなければならない。

※上記及び手具の規格に違反した場合は、競技規則に基づき減点をする。